

柿本議員（民主県政会）

令和3年2月22日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）生徒募集停止により影響を受ける子供達や関係者への対応について

地元にも大きな影響を及ぼす今回の募集停止について、現在、関係者からはどのような声が上がっているのか、また、それに対しどのように対応しているのか、また、募集停止を受け影響を受ける子供達への対応や、とりわけ最終年度に1学年となる生徒が学校生活において受ける影響について、どのようなことを想定し、それに対しどのように支援しようと考えているのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

この度の生徒募集の停止について、事務局内で具体的な方針を固めた後、直ちにお伝えすることといたしておりました。

具体的には、両校の生徒や、学校運営協議会会長、PTA会長、同窓会会長などといった、御支援をいただいている学校関係者に対し、生徒募集停止の検討対象となっていることやその考え方について、1月15日の教育委員会会議で決定する前に説明を行いました。

これに対し、「大変残念であるが、少子化の中で致し方ない」とする声や、「あまりにも急で一方的すぎる」として募集停止の再考を求める声、「在校生の進路実現に力を注いで欲しい」といった声など、様々な御意見をお伺いしております。

こうした声や意見は十分に受け止めさせていただいた上で2校の状況を勘案し、苦渋の決断をしたところでございます。

今後も引き続き、関係者の皆様に、募集停止に至った経緯やその考え方、今後の生徒への支援の在り方について、説明してまいりたいと考えております。

また、子供たちへの影響とその対応につきましては、年次進行により生徒数が減少することから、

- ・ 学校間の連携による文化祭、芸術鑑賞といった学校行事の合同開催や、部活動の合同練習、合同チームでの大会出場を行うこと
- ・ また、教職員定数が減少する中で、教育内容を維持するための人的支援を行うこと

などについて、学校の意見や要望を踏まえ、検討する必要があると考えてお

ります。

両校に在籍する全ての生徒，そして，この春に入学する生徒が，卒業まで充実した高校生活を送り，それぞれ希望する進路を実現できるよう，全力で支援してまいります。